

平成25年8月21日
東北支所

『学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ』参加報告

1. 開催日時：2013年7月21日（日） 9：00～16：00
2. 場 所： 東北大学川内北キャンパス（宮城県仙台市青葉区川内 41）
3. 全体総来場者数：7, 206人
4. 主 催：特定非営利活動法人 **natural science**
（共 催：東北大学、独立行政法人 産業技術総合研究所東北センター、宮城県、
仙台市教育委員会、仙台高等専門学校、ディスカバリー・ジャパン株式会社）
出展者：83プログラム（体験型 ブース：51、講座型プログラム：32）
95団体（大学・研究機関、民間企業、教育・行政機関、NPO など）
5. 配布物
 - ・身・守りハンドブック
 - ・製品安全
 - ・夏くらしの中のかくれた危険
 - ・温水洗浄便座は電気製品です
 - ・うちわ「製品事故を防ぎましょう」
 - ・NBRC カタログ
 - ・六つ折りパンフ
6. 出典概要

『学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ』は、「科学の"プロセス"を子どもから大人まで五感で感じられる日」をコンセプトに、「学都」として知られる「仙台・宮城」において、2007年度から毎年7月に開催している体験型・対話型の科学イベントである。

(1) バイオ部門

「小さな生き物を観察してみよう！」のタイトル、「私たちの身の回りには、見えないくらい小さい生き物がたくさん住んでいます。身近な食品の中で活躍している小さな生き物が沢山います。そんな身近な小さい生き物を見てみましょう！」の内容で微生物の培養シャーレなどの展示、微生物クイズ、DNA シーケンスパズル、DNA 積木行った。また、NBRC 紹介コーナーを設け、分譲アンプルのサンプルを来場者に見てもらった。

来場者の大多数は、小学生以下の小さな子供をもつ家族であった。微生物の展示ということでは小学生より父兄に興味を持って貰えたが、写真を撮影していく小中学生や夏休みの自由研究のテーマとして考えている小中学生もおり盛況であった。

(2) 製品安全部門

「身近な製品のサイエンス」のタイトルで、電池の正しい使用方法を学んでもらうための電池ものしりクイズ、電気の性質（スパークや発熱）の説明資料、電気製品の事故の資料を展示した。また、電池のしくみについて理解を助けるためのレモン電池及び炭電池を展示した。

その他、来場者に NITE のブースに来ていただくために来場者が興味を持ちそうな光通信模型、ファラデーモーター、電気スタンプ、太陽電池、空き缶スピーカーを展示した。

展示物に興味を持って NITE のブースを訪れる来場者が非常に多く、展示物の中にある電池のクイズや電気関係の事故の資料を見ていただくことができ、NITE の名前を覚えていただくことと製品事故について学んでいただくことができた。

7. NITE ブース内の様子



以上